



ふくおか [Good] 農業人100

主な農産物 / 花壇用花苗、ハーブ苗

原田 洋一さん (33歳) (営農地 / 朝倉市小隈)

魅力ある商品づくりを、常に意識!

《就農のきっかけ》

自分で意思決定できる仕事をしたい

「人から雇われるより、自分で意思決定できる仕事をしていきたい。」という思いから、原田さんはそれまで勤務していた食品スーパーを辞め、28歳の時に就農しました。

農業、しかも花壇苗生産の道を選んだのは、小さい頃から田植え等家の農業の手伝いをしてきたため、農業に違和感がなかったことや、叔父が近くで花壇苗生産を行っており、技術面等で相談しやすい、と判断したからです。

就農に必要な資金は親から支援を受け、自前の土地(400坪)にハウスを建設して花壇苗生産をスタートさせました。また、就農と同時に、叔父と同じ花壇苗生産者のグループにも加入しました。

《これまでの過程》

経営も軌道にのり、規模拡大!

実際に農業を始めてみると、体力面、経営面で、想像していた以上の苦勞がありました。

ポットへの土入れや定植等の作業は、腰をかがめた姿勢で行うため足腰へ負担がかかります。一つひとつのポットは軽くても、出荷時などケースにたくさん詰めるとかなりの重さになるのです。初めのうちは何十、何百もある花壇苗の品目や品種のうち、何を作って良いかわからず、ハウスにかなりのスペースを空けてしまうこともあったそうです。新参者のため市場へ出荷しても、競り時間の後半に競られるため、販売単価も安い状態でした。

栽培管理でも失敗を重ねながら少しずつ経験を積み、2年目以降には徐々に自分の思うような作業の段取りが組めるようになりました。それに伴い品質も向上し、市場からの信頼も得て次第に注文が増え、経営も軌道に乗るようになりました。

今では、経営面積も700坪まで拡大。労働力は父と妻に加え雇員を1名導入して、年間約33万ポットの花壇苗を出荷しています。



プロフィール

- 家族構成 / 父、母、妻、子ども1人
- 前職 / 食品スーパー
- 営農年数 / 約5年
- 従業員数 / 1名
- 耕作(経営)面積 / 23a
- 販路 / 花き専門市場

《これからの展望》

経営規模の拡大と販売単価の向上がこれからの目標

「今後、さらに規模拡大をしたい。」と原田さんはこれからの目標を語ってくれました。ハウス内の設備を充実させ、雇用を増やしながら経営面積を現在の2倍程度にしたいそうです。

そして、「人が作っていない品種を取り入れたり仕立て方を工夫して、もっと高品質で販売単価の良いものを作りたい。」とも。「情報収集」と「魅力ある商品づくり」を常に意識して、日頃から市場や仲間と連絡を取り合い、他人の生産物を観察しています。「それが、市場の信頼や技術力の向上、新しいアイデアを生み出すことに繋がるのではないか。」と原田さんは考えています。



Good 成功のためのポイント

「手抜きをせずに努力を続けること」、「仲間づくり」が成功のための大きなポイント。